

平成23年度事業実績及び収支決算について

平成23年度事業実績報告書

I. 全体概要

第46回通常総会で承認された平成23年度事業計画に基づき、かんしょ、にがうり、いちご、かぼちゃ、らっきょう、花き類等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗生産では、デルフィニウムのリゲル、スイートピーの紅式部以外は順調に生育し、ほぼ計画に沿った採苗・採種を行うことが出来た。

種苗供給では、にがうり、かぼちゃ、ピーマン台木及びラナンキュラスが計画を下回ったが、かんしょ、らっきょうは計画を上回った。

歳入面では、当期収入が67,537千円（税込み）となり、この内事業収入は44,183千円（税込み）であった。にがうり、ピーマン台木の不足分をかんしょの増加により補った形となり、当初計画比99%であった。その結果、当期収入に占める事業収入の割合は65%となった。なお、作業員の農閑期及び施設の遊休期間を活用して、野菜苗の受託育苗に取り組んだ。

県の事業により、3連棟のパイプハウス3棟、かんしょ水耕苗増殖施設、ガラス室の雨漏り防止等の改修工事を行った（総額40,000千円）。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

(1) 総会

第47回通常総会を平成23年7月13日に、第48回通常総会を平成24年3月29日にそれぞれ開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

第48回通常総会においては、平成24年度事業計画等が承認され、公益法人制度改革に伴う定款変更の方向性及び役員定数等の協議を行なった。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第47回通常総会	平成23年7月13日	J Aビル 501研修室	1. 平成22年度事業実績及び収支決算について 2. 平成23年度収支予算の補正(案)について 3. 役員補欠選任(案)について(別表-1)
第48回通常総会	平成24年3月29日	J Aビル 501研修室	1. 平成23年度収支予算の補正(案)について 2. 平成24年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成24年度会費及び納入方法について 4. 役員補欠選任(案)について(別表-2) 協議事項：公益法人制度改革に伴う新制度への対応について ・定款の変更について ・役員定数について 報告事項：種苗供給価格の改定について

(2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場 所	議 案 事 項
第1回 理事会	平成23年 7月13日	J Aビル 501研修室	1. 平成22年度事業実績及び収支決算について 2. 平成23年度収支予算の補正(案)について 3. 役員の補欠選任(案)について
第2回 理事会	平成24年 3月29日	J Aビル 501研修室	1. 平成23年度収支予算の補正(案)について 2. 平成24年度事業計画及び収支予算(案)について 3. 平成24年度会費及び納入方法について 4. 平成24年度借入限度額(案)について 5. 役員の補欠選任(案)について 6. 種苗供給価格の改定(案)について 協議事項：公益法人制度改革に伴う新制度への 対応について ・定款の変更について ・役員の定数について

(3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画 運営委員会	平成23年 6月8日	総合農試 第1会議室	第1回理事会付議事項(3議案)について 報告事項：種苗の販売価格について
第2回企画 運営委員会	平成24年 2月22日	総合農試 第1会議室	第2回理事会付議事項(6議案)について 協議事項：公益法人制度改革に伴う新制度への 対応について

(4) 事務局員会議

種苗生産・供給に当たっての諸課題等について検討するため、事務局員会議を開催した。

[事務局員会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
野菜・花き	平成23年 11月22日	総合農試 第2会議室	1. 平成24年度採種計画について 2. 予約方法について 3. 取扱品種について 4. 県外許諾について 5. 供給価格について 6. 公益法人への移行について

(5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	協 議 事 項
棚卸監査	平成23年10月 4日	平成23年度上期末棚卸監査
	平成24年 4月 3日	平成23年度期末棚卸監査
帳簿監査	平成23年11月24日	平成23年度上期末帳簿監査
	平成24年 4月19日	平成23年度期末帳簿監査

また、宮崎県農産園芸課所管の公益法人に対する立入検査も平成23年12月15日に実施された。

2. 種苗生産・供給事業

(1) 優良種苗の安定生産と作業の効率化

①優良種苗を安定的に生産するため、県総合農試等から随時肥培管理や種苗生産上の留意点等について助言指導を受けた。また、毎週の業務企画会議において、作業の進捗状況や問題点の早期把握に努めるとともに、作業員との連携強化により作業の適正管理の徹底に努めた。

②JAとの連携を図りながらすすめた需要調査の結果をもとに種苗の生産計画を立て、需要に応じた生産及び供給に努めた。

種子生産に当たっては、優良な種子生産のため、また燃料が高止まりしていることから、厳寒期及び猛暑の期間をさけた栽培をこころがけた。

(2) 野菜、いも類の無病苗（ウイルスフリー苗）の生産・供給

茎頂培養技術を活用して育成した、かんしょ、らっきょうの無病苗を増殖し、供給した。いちご（さがほのか）については、佐賀県より原々種を購入し増殖・供給した。

①かんしょは、「宮崎紅」、「コガネセンガン」「ことぶき」等の挿し苗とポット苗を増殖し供給した。農家で3次増殖する年内の需要が増加しつつあるので、生産開始時期を早くした。計画対比で供給数量は115%、金額は122%であった。

園芸振興協議会と共同で「宮崎紅」の新系統「O—61」の現地試験を行っているので、有利性が実証されたらなるべくはやく普及に移せるよう準備を開始した。

②いちごは、「さがほのか」の苗を増殖し、ポット苗で供給した。供給数量は計画対比85%で、防除の徹底により、優良苗の生産に努めた結果、供給先からの評価は概ね好評であった。原種増殖用ガラス室が通風が悪く、高温になりすぎるので改修工事を行った。

③らっきょうは、原々種の種球を生産するとともに、宮崎市田野町の農家に生産を委託して、原種の種球を生産・供給した。供給数量は需要の増加にともない、計画対比111%となった。

(3) 野菜種子の生産・供給

県総合農試等で育成された、かぼちゃ、にがうり、ピーマン台木の種子の生産・供給を行った。

- ①かぼちゃは、「宮崎早生1号」を採種し供給した。供給数量264袋（計画対比88%）となった。
- ②にがうりは、「宮崎つやみどり」、「佐土原3号」、「パワフルレイシ」、を主体に採種・供給を行ったが、「宮崎つやみどり」の需要がそれほど伸びなかったため、供給数量は、2506袋で計画対比90%、前年比105%となった。
- ③ピーマン青枯病抵抗性台木F₁品種「宮崎台木3号」については、450袋の計画に対し199袋の供給となった。台木特性は優れるが、需要は思ったほど伸びなかった。

(4) 花き類の種苗生産・供給

県総合農試で育成、系統選抜された、きく、スイートピー、デルフィニウム及びラナンキュラスの生産・供給を行った。

- ①きくは総合農試において新に選抜された「神馬66-4」について、急きよ依頼がきたので総合農試の協力を得て緊急増殖し対応した。
- ②スイートピーは、県総合農試で育成された「紅式部」、「式部」、「美々」、等品種の種子を供給した。全体の供給数量は60袋（計画対比200%）となった。交配作業が必要で、結実が困難な「紅式部」は、気象条件良かったにもかかわらず結実率が低かった。園振協を中心に対策を検討し、次年度は「播種時期を早める」「腋芽かぎ・誘引をこまめにする」事とした。
- ③デルフィニウムは、「レグルス」、「ポラリス」、「リゲル」等7品種のF₁種子を採種し供給した。「カペラ」「リゲル」「ベガ」は一莢粒数が他の品種の半分以下のため生産原価が高くなった。
- ④ラナンキュラスは、県総合農試で育成された「ガーネット」等の培養苗を増殖し、セル苗形態で供給した。供給数量は10,921本で計画対比78%であった。

3. 野菜、いも類及び花きの優良親株の保存

野菜2品目4品種、いも類1品目2品種、花き5品目16品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作目	品目	品種	導入先	導入年次	保存形態
野菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成5年	フラスコ苗
		キングベリー	えびの市	平成12年	フラスコ苗
		さがほのか	佐賀県	平成21年	鉢苗
	らっきょう	らくだ	県総合農試	昭和63年	フラスコ苗
		らくだ	都城市	平成5年	フラスコ苗
いも類	かんしょ	宮崎紅A-3	串間市	平成7年	フラスコ苗
		宮崎紅O-61	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		ことぶき	宮崎市	平成8年	フラスコ苗
花き	きく	神馬66-4	県総合農試	平成21年	選抜親株
	スターチス	スターライトパープル	県総合農試	平成7年	フラスコ苗
		スターライトローズ	県総合農試	平成7年	フラスコ苗

花 き	デルフィニウム	GN89(シウス親)	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		LP93	県総合農試	平成20年	フラスコ苗
	ランキュラス	ガーネット	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		ラズベリル	県総合農試	平成19年	フラスコ苗
		ローズクオーツ	県総合農試	平成21年	フラスコ苗
		ランキュラス4系統	県総合農試	平成22年	フラスコ苗
	スプレーカーネーション	ローロ	県総合農試	平成19年	親株
		ローレット	県総合農試	平成19年	親株
		ローピンク	県総合農試	平成19年	親株

4. 優良種苗利用促進事業

優良種苗利用促進事業を活用して、優良種苗の低コスト安定生産技術開発に努めた。

- ①いちご無病苗育成のための防除技術の確立
- ②にがうり優良種子採種技術の開発
- ③かんしょ安定生産に関する試験
- ④デルフィニウム種子保存技術の確立
- ⑤スイートピー「紅式部」の採種技術の確立

(別表－1)

役員の補欠選任について

1. 理事

辞 任		就 任	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
森永利幸	J A宮崎中央代表理事組合長	藤原榮伸	J A宮崎中央代表理事組合長

2. 監 事

辞 任		就 任	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
増田慶信	J A宮崎中央会学経監事	森岡幸一郎	J A宮崎中央会学経監事

(別表－2)

役員の補欠選任について

1. 理事

辞 任		就 任	
氏 名	勤務先役職名	氏 名	勤務先役職名
井上俊次	J A串間市大東代表理事組合長	野邊 守	J A串間市大東代表理事組合長